



すずかけ



令和7年4月18日
第2号
校長 鎌田 史顯



「いのちを輝かせる」姿について

先日開幕した大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン (Designing Future Society for Our Lives)」です。その意味は「人間一人一人が、自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともに、こうした生き方を支える持続可能な社会を、国際社会が共創していくことを推し進める」というものです。平成28年に策定された山形市教育大綱の基本理念は、「郷土を誇りに思い いのちが輝く 人づくり」です。「いのちが輝く」とは、「自分の生命や存在をかけがいのないものと感じ、他の生命や存在も大切にしながら、みんなのいのちを輝かせ、生きる喜びを実感できる教育の推進」とされています。大郷小に着任以来、校長講話や各行事の式辞で繰り返し「いのちを大切に生きる」ことの大切さや「いのちを輝かせる姿」、「自他のいのちの尊厳」についてお話ししてきました。市の教育大綱や万博のテーマ、校長の言葉にも『同じキーワード』が使われるのはなぜでしょうか。

その理由の一つ目は、「先の読めない近未来を切り拓くたくましさや、AIや科学技術が急激に進歩する社会を生き抜く力を身につけて欲しいから」です。小学校では、これまでのように「先生に教えてもらう」部分は多くありますが、それだけでは足りません。「自ら学ぶ」「学び方を覚える」「自分の個性を伸ばす」ように、「すすんで」学習に取り組み、単に頭に詰め込むのではなく「使える・駆動できる知識や技術」の習得が求められています。「わかった」「できた」のキラキラした目があり、「もっと知りたい」「もっと調べたい」「ひらめきを確かめたい」「できるまでやりたい」のように学習にのめり込み、没頭できることが「学ぶ楽しさ」の実感につながります。

「自分の成長」は、心からの喜びであり、良い表情と素敵な笑顔があり、『いのち輝く姿』です。

二つ目は、「自他のいのちを大切にすると共に、支え合い、認め合い、磨き合う喜びを感得して欲しいから」です。祖先から脈々と受け継がれてきた、唯一無二のいのちの尊さを自覚し、全うすること。一人一人の個性が尊重され、認められること。自分の存在は、育み愛してくれる多くの人たちに支えられていることに心から感謝すること。そして、自分以外の人にも等しくかけがいのないいのちがあり、支え愛する多くの人がいること。他の人と一緒に学ぶからこそできる体験や学びがあること。自分がリーダーになったり、フォロアーになったりすることにより、自分が活かされ、居場所があることなどです。仲間に認められ、自分の存在意義があり、仲間のために力を発揮できた時、「すすんで」自分磨きをすると共に、仲間と「すすんで」関わり、一緒に学び合い、高め合えた時には良い表情と素敵な笑顔の『いのち輝く姿』になります。

子供たちが「良い表情と素敵な笑顔」で通学できていれば、保護者の皆様も地域の皆様も安心することができ、学校との信頼関係が生まれます。先生方も成長を実感し、やりがいを持ちます。この好循環が「ウェルビーイング」なのです。

『いのち』を大切に生きる
(1) 『いのち』を輝かせる
(2) 自分の『いのち』を守る
(3) 仲間の『いのち』も大切にし、守る

年度初め・1学期はじめの 「いのちを輝かせる」姿

- ①すすんで、元気で明るいあいさつをする！
- ②すすんで、学習や活動にのぞみ、やりきる！
- ③すすんで仲間と一緒に活動し、学び合う！



令和7年度の大郷小学校について

新年度が始まって10日間が経とうとしています。6年生は清掃や登校班などでリーダーとして活動しています。進級した2～5年生は、上級生としての意識を持ち、本格的に始まった授業に集中しています。

1年生も徐々に学校生活に慣れはじめ、授業に集中して取り組んだり、係活動に積極的に取り組んだり、給食活動にも協力して取り組んでいます。

今年度の本校教育について紹介させていただきますので、ぜひ、ご理解いただき、ご支援とご協力をお願いいたします。



みんなで準備を進め、「いただきます」

【学校教育目標】 『自立と共生 誇りと信頼』

《自立》『子供も教職員も学び続ける学校』

…自立した学習者」として学び続け、持続可能な社会の担い手を育成する

《共生》『自他のいのちを大切にする学校』

…「共生社会」実現の一員としての学びや心の成長を支える

《誇り》『地域を愛し、誇りにする学校』

…地域で学びを通して、大郷の良さを理解し、大郷を愛する心を育てる

《信頼》『応援され、支援される学校』

…誰一人取り残されず、個々の個性を尊重する学びの実現が生み出す頑強な絆づくり

【めざす子供の姿】 『こころゆたかに かしこく たくましく』

《こころゆたかに》正義が通る集団をつくり、相手を思いやり、自他を大切にする姿

《かしこく》学ぶことの意義や楽しさを知り、自らすすんで学ぼうとする姿

《たくましく》仲間と共に高め合い、学び合う活動の喜びを知り、次の学びへと前進する姿

今年度、教育目標について「今求められる力」「大郷小の子供たちの課題」「本県第七次教育振興計画」に基づいて整理すると共に、めざす子供の姿をより具体的に改めました。これまで大切にしてきた「主体性」を高める大郷小の教育活動を、さらに実のあるものになりたいと考えています。特に、「その活動でどんな力をつけるのか」を常に明確にし、「子供がすすんで（主体的に）取り組める授業づくり」「必要感を持ち、すすんで学習に取り組んだり、すすんで話し合いに臨んだりできる」ことに取り組みます。子供たちの可能性を広げ、個々の持てる力を伸ばせるように、先生方も授業づくりを研究し、勉強会を重ねるなど、日々精進を続けます。

ALTにAFEEZ(アフィース)先生、石森翠先生の産休代に菅谷由起子先生

今年もALT(アシスタント・ランゲージ・ティーチャー)として「アフィース先生」が4月16日より勤務していただき、大きな声でハツラツと英語でのコミュニケーション教えていただいています。また、事務の石森翠先生が4月18日より産休に入られますので、その期間は「菅谷由起子先生」に勤務していただきます。今年度3人の先生方が産休となっています。母子ともに元気で、かわいい赤ちゃんのご誕生を心からお祈りしたいと思います。